異國漂流船談

862
119
1

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用

25 53 I

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用

11

862
119
1

長崎和蘭人國家漂流
石州浜田中村屋漂流
寄書之事

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(11)

異國漂流船談

寛暦七乙丑年志州国鳥羽の船頭中次郎沖中に難へ
逆浪に流されて南海に漂流人の事今度薩州に漂流人
の後に十年以来の第三番目
三度目見届ける家は志州布施浦に船頭中次郎外
六人於合古今に日本大阪に着船
つゝ入浦の中へ入舟大海に出来りしが付ハ
乃ち平安の別荘にて三日間
大商人船頭中次郎に吹流を五十日の内大雨
けゝ一日に百里
なるもの也こゝに美くいと
何に中風に

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1
ガラス使用

かつて大海出ることなかりしに、五月十日に八
丈島の沖へ出ぬるに、船はゞ破れもや
こゝにて破れぬべきに、はるかに右の方に船の見え
しを、漕寄せたるに、日向の大きなる船にて、
富士山にも大きなる人くゝたる
日向と海との名をかゞせしに、さてもあれば、人の
かゝるもくゝにあるこゝにて付まゐらせ
ぐるに日向にて八丈の方に昼夜五日
こゝに来る所の沖に南西
栄は流るゝ所なれば、ちかぢかにて無名の波の
沖にも一向大きなる海の外

にはなくて、船中に脇をめぐりて
海中に入る所なり。百五十日ばかり流れたる
こゝに来る。
船は、
船中一日とこゝにて、日向に日向を船
又南北とかゝるに、五十日流れたる
時に、こゝにも海中もなくて、
まで、船の国ひ水も絶へ、
いものまぼろしに人に国郡
船中に日向船
後に一度まとおもひつゞけ、
なれども、人の中に有の去二人
船中へ

捨て作髪の毛だらけとなりて、油屋人のよのもの品々
ぞ、同じくだらに神佛とて居ぬ所なり、漂流人へ
くゝ流れ、ひくに珠の外の家に来つゝして使ひて
船洞いだけたる家もの、ひとりまて、ことなりて、
て、間とうるわしまて屋に船毎くに洞の板を色
家といとうせとあて神船とわべ大くに船
面にて、目の出て船りたに目板の船目板にく
船一山沖ぬ目板人ハ沖ぬ沖ぬ沖ぬ
進にはのこに、ハ行ぬ行ぬ行ぬ行ぬ
船いて面につぬ五十丁ぬ行ぬ板人
右面人上ぬ沖と長崎ぬ沖ぬ家の

人家人人ハそう板地の板ぬ板ぬ板ぬ
行ぬ行ぬ行ぬ一向に行ぬ行ぬ行ぬ
地と方ぬ行ぬ行ぬ行ぬ同じく合ぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬ板中ぬ
五出一ぬ行ぬ行ぬ行ぬ
水と行ぬ行ぬ行ぬ行ぬ
ぬぬぬぬ潮ぬ合ぬ
ぬぬぬぬ四人ぬ水ぬ
ぬぬぬ人の家ぬ人
ぬぬ一船ぬ沖ぬ沖ぬ
ぬ五十丁ぬ沖ぬ家の家船の

三月に村先生方へ若衆連て相方を
誘て行て酒て皮にて拵へ
そこへ帰のわら家屋へ
けて三月に雷だんごの枚
人のよの海鳥へ波
枝ゆ云へ八幡宮へ中
乗来て帰り市に
百人仲に百姓
別に八郎市又生
の枚へ
ある日知り書て入せても
書て入せてもあ
志に書て
人ある前の俵人
の蛸りのの二枚に書
又にあ
アー人の若方と
よと一市に
枝に鼻
ある合にて親には
まつ床
枝の日知り書て入せても
書て入せてもあ
人に負へ
人ある前の俵人
の蛸りのの二枚に書
又にあ
アー人の若方と
よと一市に
枝に鼻
ある合にて親には
まつ床

人とつゝハしゝ舟のゝ方よりのゝと返し波はしゝ高くさゝを
柳ごとくもゝ返しゝ船頭の面人船ゝのゝ上をとゝ
背中にのゝとさゝまゝ又ゝ舟ゝを作間をとゝ
火はのゝてゝゝ用もまゝ船ゝ水ゝ入ゝ
ゝんのゝとゝよのゝと大きゝ船ゝ人船の上ゝ船ゝと
つゝゝ南ゝのゝ出ゝゝ高ゝ
船中ゝ船ゝ横ゝ船ゝのゝ友ゝゝゝ
大ゝめゝゝ波ゝゝのゝ船ゝゝ向
ゝゝゝゝゝゝ帝ゝゝゝ一船ゝ
ゝゝ船ゝ流ゝ時大ゝ奥ゝ
ゝ南ゝ流ゝ時大ゝ船ゝ

ゝゝゝ船ゝ船ゝ
ゝゝ船ゝ船ゝ
ゝゝ船ゝ船ゝ

又て[illegible]屋に[illegible]の[illegible]の[illegible]人[illegible]の名
[illegible]人づつ来り[illegible]に二人づつ板にの老如き[illegible]
[illegible]る[illegible]板れ[illegible]る[illegible]板に[illegible]く[illegible]
[illegible]の一枚板に[illegible]付通り[illegible]一村
[illegible]く[illegible]だ[illegible]ぐ[illegible][illegible]
[illegible]ぐ[illegible]に[illegible][illegible]人[illegible]
[illegible]く[illegible]れ[illegible]る[illegible][illegible]に[illegible]
[illegible]く[illegible]に[illegible]付[illegible]
[illegible]屋[illegible][illegible]
日[illegible]に[illegible]
[illegible]人[illegible]

海[illegible]一面[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の外に入れる如にあるる人二人は
[illegible]年人金百連寄[illegible]
[illegible]やうに[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

と百人ばかりと言ひ牧者と言ひ牧者と言ひ牧者と

わけて帝の御はからひにて
送りとる二十四日に船にのせ
送りとるに行わりてもえ
わたんぐ送恩しりて
一船ハ南京まで日数百五十日余掛る
三十五人中御下ゝ
大船ハ九十日ほどもかゝる
日和掛りに送へ
林十日ほどにて
えしき人に出合しに
ゝ送へ

第五段 ゝ
先達にして
ゝ人ぐ
の町人
人物又
一和ゞ
ゝ
ゝ
ゝ

まで来て乗り換へ五十里程で[illegible]
船ごとの幕を打て南京へ入る
福州が南京の入口[illegible]町第十番目に江戸通り
[illegible]
文相町[illegible]八月の[illegible]
相限[illegible]沢山[illegible]
家は[illegible]二百五十[illegible]
[illegible]の[illegible]市の[illegible]
[illegible]五[illegible]
[illegible]通り[illegible]
[illegible]

一向[illegible]
[illegible]
弥[illegible]
相限[illegible]八月[illegible]
[illegible]
[illegible]八月[illegible]
[illegible]
[illegible]
九月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

出さして沒命大変なれども
人へに迷惑に及ぶもたくさん
よりたり却て沒命ゟ今病を
しば年程ゟ年サ年程
いろいろと苦しく
海中にて船の角と
船のさしゝ鮮の焼ひたし
川奥ハ浜山海奥ハ
及しの貴ハ
菓子ゟ
ハ
ハ

海中にて船の角と
船のさしゝ鮮の焼ひたし
川奥ハ浜山海奥ハ
及しの貴ハ
菓子ゟ

唐人共ハ南京人にて高麗ハ
理屈にあひ板にあひ
麦ハ
くふうく
じゝび
南の羽織一枚づゝ
よく
福州にても能
也にても毛氈
ゆ
作
海一張や
ふ
で入
物事
此道
もゝ

而にて
板南京にて
久丈物の
形に
作
海一張
ふ
で入
物事
此道
もゝ

唐人共ハ
麦ハ
くふう
じゝび
南の羽織
よく
福州
也
海一張
ふ
で入
物事
此道
もゝ

而にて
板南京
久丈物の
形に
作
海一張
ふ
で入
物事
此道
もゝ

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1
ガラス使用

指刀吁摩にて[illegible]に[illegible]
[illegible]一面[illegible]
[illegible]に[illegible]
青の[illegible]
[illegible]に[illegible]
[illegible]
[illegible]

程ゝ能人家屋敷等外畑稗菜等を所望の類
[illegible]
[illegible]
相南表に通船中右の[illegible]四十五人下人
[illegible]
[illegible]人食毒ゝ海辺に流し[illegible]
[illegible]実に潤にもせび御仁合氏の面ゝ人民
[illegible]の国ゝにても[illegible]
[illegible]
[illegible]ぶに仰ゝ[illegible]実ゝ神氏の船渡唐人れ
[illegible]
[illegible]唐人の[illegible]の流
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

862
1

[illegible]

寛暦九年卯年十[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『異国漂流船談』　請求記号 862-1

ガラス使用